



奈良県介護大賞、あたたか介護賞を受賞

グループホームさくらと校区バンビカフェの代表者が市長を表敬訪問します

奈良県内で、介護を通じた人々の支え合いが家庭や地域に広がるよう、優れた介護の取組を表彰する「奈良介護大賞」において、今年度大賞を受賞したグループホームさくら、あたたか介護賞を受賞した校区バンビカフェの代表者が市長を表敬訪問します。

- ◇日 時 11月26日(火) 14時～
◇場 所 生駒市役所 4階特別会議室
◇訪問者 グループホームさくら 竹田 幸代(たけだ さちよ)氏 他4名
校区バンビカフェ 野田 悦子(のだ えつこ)氏 他4名

■ 取組概要

●奈良介護大賞受賞 グループホームさくら

奈良県内で初となる、ペットと共に入居できる認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)で、10頭のセラピードックが入居者やその家族、地域住民に癒しを与えています。動物とふれあうことで脳が刺激され、入居者の記憶力向上や自発語の増加、情緒の安定などの効果が現れています。

また、「グループホームさくら見守り隊」を結成し、毎朝夕にセラピードックと入居者、職員が地域の見守り活動を実施するほか、認知症が原因で飼育できなくなったペットの保護も行っています。

●あたたか介護賞受賞 校区バンビカフェ

市内で最も高齢化率が高い鹿ノ台小学校区で、区内の3つの自治会が協力して、毎月1回の定例カフェ(紙芝居と楽しくおしゃべり)と、年3回の特別イベントとして食事付きカフェを開催しています。

認知症の人だけでなく、地域との関わりが希薄な高齢者や地域住民、福祉専門職や図書館職員など、「人の繋がりがあたたかい地域にしたい」という思いを持った人たちが主体的に参加・運営することで、参加者とスタッフの繋がりが強くなり、地域における認知症の理解、顔の見える関係の構築を行っています。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ
生駒市地域包括ケア推進課(課長 後藤) ☎0743-74-1111(内線 461)